第九たいむず

No.35　2016.2.18 通刊1177号　担当　幸代

ホームページ：www.takasaki9.com　メールアドレス：takasaki9@myad.jp
〒370-0863　高崎市聖石町9-13（赤羽方）　TEL/FAX：027-322-0996　緊急 090-1828-8052（小野里）

ニュースでも言っていましたが春一番が吹きましたね。春のような暖かさになったかと思えば冬の寒さに戻ったり寒暖の差が、かなり激しいですね。体調管理に十分注意して練習に参加してまいりましょう

◆練習時間を15分延長し、9:00終了としています！

雪で練習中止という予期せぬ出来事があったために練習計画が遅れてしまいました。そのために、2月4日（木）からは練習時間を15分延長し18：45～21：00まで行うことになりました。都合の悪い場合は静かに退出してください。

◆2016年度・団員登録時についてお願い【重要】

新年度の団員登録の申し込みを受け付けています。申込書に氏名・住所以外にメールアドレスや電話番号など記入すべき欄を全て記入して下さい。前に申し込んだときに書いたから良いと言う事ではなく改めて記入をお願いします。記入漏れがあると本人に直接問い合わせをしたりしなければならないため事務局の方で手間がかかってしまいますのでぜひ御理解と御協力をお願い致します。又、メールアドレスや電話番号など変更があった場合は必ず早めにパートリーダーにお知らせください。怠ってしまいますと緊急連絡が届かないことがありますので宜しくお願いします。

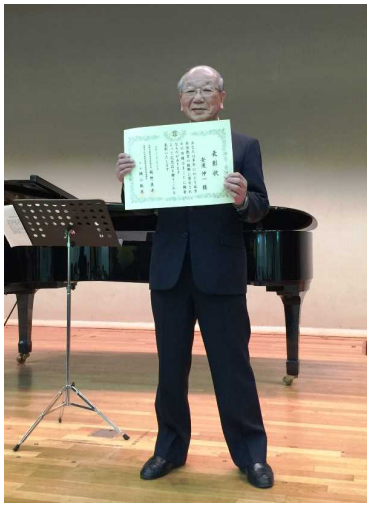
◆第42回演奏会追加写真をお渡しています

先週、井田写真館の井田さんがお見えになり注文された方に1枚1000円で販売しました。お休みなどでまだ受け取っていない方は1000円と引き換えにお受け取りください。

◆駐車場料金について

先週中村副団長から報告がありましたがリパーク高崎高松町の駐車料金が値上がりしました。ご承知おきください。

◆生涯学習フェスティバルで安達伸一さんが表彰されました。



先のたいむずでも紹介しましたが先月30日ソシアスで表彰式が行われました。

それを記念して先週、団から花束の贈呈が行われました。新井裕子さんから渡され嬉しそうなお顔が印象的でした。

写真ではちょっと緊張している感じかな。「歌を忘れたカナリア」になるまで歌って下さるそうです。おめでとうございました。

◆ 今後の予定　＜メイコンまで木曜の通常練習を21：00迄に延長します＞

2月28日（日）　すみだの第九　（有志参加／申し込みは締切済）
3月12日（土）　記念誌出版記念パーティー　（メトロポリタン高崎）
4月10日（日）　メイコンサート特別練習　（中央公民館）　10：00～16：00
5月15日（日）　メイコンサート　（群馬音楽センター）
5月19日（木）　総会、ミニコンサート
5月26日（木）　練習お休み

◆ イベント情報

★ 下野戸亜弓「新春コンサート2016」 2月28日（日） 17：00開演　メトロポリタン高崎

バスの大里さんの邦楽仲間でもあり、今が旬の箏曲演奏家、下野戸亜弓さんの新春コンサートです。今回は、雅楽の龍笛奏者，角田眞美さんをゲストにお迎えし、箏と龍笛によるコラボレーションによるプログラムをお楽しみいただきます。＜食事付6000円＞詳しくはバス大里まで。

★ たまごコンサート　3月13日（日）13：30開場　14：00開演　新町文化ホール

出演　トリオ・アンファリア　　全席自由　1000円　チケットはプレイガイドでお求め下さい。
詳細は、ちらしを参照下さい。

◆ エメリッヒ・カールマンについて：喜歌劇「伯爵夫人マリツァ」の作曲家

（安達さんが調べてくださいましたので紹介させていただきます）

ハンガリーの作曲家エメリッヒ・カールマン（1882－1953）は、ブダペストでバルトークやコダーイらとともに作曲を学び、最初は管弦楽曲を中心とする作曲活動を行っていましたが、オペレッタ「陽気な軽騎兵」（1908年）が大成功を収めたのを機に、以降はオペレッタ作曲家としてウィーンを中心に活動を続け、ウィーンのオペレクタにハンガリーの民族的な要素を巧妙に結び付けた作風と優れた管弦楽法によって高く評価され、不動の人気を築き上げました。

代表作には、「チャールダーシュの女王」や「サーカスの女王」などがありますが、彼は激しいチャールダーシュ（ハンガリーの民族舞踊）のリズムや情熱的で美しい旋律、民族色溢れる色彩豊かな和声によって、ウィーンのオペレッタにミュージカル的な要素を持ち込み、その流れを大きく変えたのでした。「伯爵夫人マリツァ」は1921年に作曲された3幕のオペレッタで、これによってカールマンは、オペレッタ作曲家として不動の地位を築きました。ハンガリーの平原を舞台に、大地主の伯爵家令嬢マリツァと、ある事情で身分を隠して彼女の家で働いている貴族タシロの恋が、詩情豊かに、まるでミュージカルのように心地よく描かれています。

注：この資料は陸上自衛隊中央音楽隊CD（ブラスバンド）の解説から引用したものです

◆ 中村副団長より箱根八里について投稿があったので紹介します

国語の時間に「箱根八里」を漢字で書いてみようという課題が出たことがあります。
皆さんは書けますか？　歌詞を覚える助けになりますよ

「箱根八里」

1　箱根の山は　天下の険　函谷関も物ならず
万丈の山　千仞の谷　前に聳え後に支う
雲は山をめぐり
霧は谷をとざす
昼猶闇き杉の並木　羊腸の小径は苔滑か
一夫関に当るや万夫も開くなし
天下に旅する剛毅の武士
大刀腰に足駄がけ　八里の岩ね踏み鳴す
斯くこそありしか往時の武士

2　箱根の山は　天下の阻　蜀の桟道数ならず
万丈の山　千仞の谷　前に聳え後に支う
雲は山をめぐり
霧は谷をとざす
昼猶闇き杉の並木　羊腸の小径は苔滑か
一夫関に当るや万夫も開くなし
山野に狩する剛毅の壮士
猟銃肩に草鞋がけ　八里の岩ね踏み破る
斯くこそありけれ近時の壮士